

山形県市町村職員共済組合

時代に合わせ変化しながら30年

山形県市町村職員共済組合 事務局長 菅野 啓

山形県市町村職員共済組合で初めてライフプランセミナーを開催したのは、今からちょうど30年前の平成7年になります。当時、旧自治省より「生涯生活設計の支援等の施策に関する方針」や「地方公務員等に係るライフプラン推進計画の策定について」などライフプラン事業の推進について地方公共団体に対し通知がなされておりました。

これを踏まえ、当組合において研究委員会を設置し検討を加えた結果、共済組合が実施主体となり県内市町村等において統一した情報を提供すべきとの結論に至りました。これにより、セミナーを所属所における職員研修の一環と位置付け、参加する組合員は職務命令により参加していただくという形をとっています。また、県内4地区でセミナーを開催することで、参加しやすい環境づくりにも努めています。

セミナーの内容

平成7年当初は「40歳代対象」「退職者対象」の2種類のセミナーでしたが、目まぐるしく変化する社会と多様化する組合員等のライフスタイル・価値観に対応するため、制度改正・時事情報及び参加者からのアンケートを基に適宜見直しを重ね、現在は次のようなセミナーを開催しています。

① 生涯生活充実型（30歳対象）

早い段階で将来の人生設計をたて、有意義な公務員生活を送るために必要な情報を提供する

- ・将来のライフイベントについて
- ・家計設計について

② 情報提供型（59歳対象）

定年引上げ制度に伴い勤務先から情報提供されることに合わせて、社会保障に関する情報提供を行う

- ・60歳以降の家計設計について
- ・社会保障制度（年金、医療関係）について

③ 退職準備型（50歳以上の年度末退職予定者対象）

退職後の有意義で充実した生活への円滑な移行を支援するため、必要な情報提供を行う

- ・退職後の「生きがい」について
- ・退職時の手続きについて
- ・年金制度について

※令和6年度の各セミナー参加者の合計は1,036名（対象者の約7割）と多くの組合員に参加いただいています。

参加者の反応と今後の課題

いずれのセミナーにおいても、「これからのことを考えるきっかけになった」「漠然としかイメージできなかったことが明確にイメージできた」等の感想が寄せられており、受講後の組合員の生活に資するという点については、手ごたえを感じています。

限られた時間でのセミナーでは内容がどうしても広く浅くなってしまいがちですが、参加者に配付している貴協会のライフプランガイドブックは非常に充実した内容となっているため、セミナーを補完してくれる存在として我々にとって大変心強いものとなっております。

また、令和4年10月から共済制度の適用とされた短期組合員についても、ライフプランセミナーの参加対象ではありませんが、ライフプランガイドブック（民間版）を配付し、ライフプランに関する情報提供を行っています。

今後の課題としては、より深い知識を求める組合員のニーズに応えるために、特定の分野に特化した専門的な内容（資産運用、社会保障制度、相続など）の新たなセミナーの開催を模索していくことが必要だと考えています。

様々な情報が洪水のように溢れている時代ですが、純度の高い正しい情報を、そして、組合員にとって必要で有用な情報を提供できるように、今後も尽力していきたいと思っています。